

外研

日语分级读库



にほんご よむよむ文庫

Vol.2 **4** すも う 相撲



2008

日本NPO法人 日本語多読研究会 三
松田 緑 (日) 著
宇田川 紀子 (日) 插图



外研

日语分级读库



にほんご よむよむ文庫

Vol.2 **4** ⑤

すもう
相撲

江苏工业学院图书馆

日本NPO法人 日本語多読研究会 主編

林田 緑 (田 著

宇田川 紀子 (日) 插图

藏书章

外语教学与研究出版社

北京

京权图字: 01 - 2008 - 1939

© Originally Published by ASK Publishing Co., Ltd., Tokyo Japan

图书在版编目(CIP)数据

外研日语分级读库. Vol. 2. 4. ⑤ / 日本NPO法人日本语多读研究会主编. —
北京: 外语教学与研究出版社, 2008. 11
ISBN 978 - 7 - 5600 - 7956 - 1

I. 外… II. 日… III. 日语—语言读物 IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2008) 第 178419 号

出 版 人: 于春迟

责任编辑: 王晓静

装帧设计: 王 军

出版发行: 外语教学与研究出版社

社 址: 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址: <http://www.fltrp.com>

印 刷: 北京国邦印刷有限责任公司

开 本: 880×1230 1/32

印 张: 1.25

版 次: 2008 年 12 月第 1 版 2008 年 12 月第 1 次印刷

书 号: ISBN 978 - 7 - 5600 - 7956 - 1

定 价: 36.90 元 (全五册)

* * *

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话: (010)88817519

物料号: 179560001

日本語を勉強しているみなさんへ

「にほんごよむよむ文庫」は、

日本語を勉強しているみなさんのための「読みもの」シリーズです。

楽しみながらたくさん読んでください。

やさしいものからたくさん読むと、知らないうちに漢字の読み方や言葉が身につきます。

読んだ話をCDでも聴いてみてください。読みながら聴いてもいいでしょう。

目からも耳からもどんどん日本語を吸収しましょう！

「にほんごよむよむ文庫」4つのルール

- 1 やさしいレベルから読む。
- 2 辞書を引かないで読む。
- 3 わからないところは飛ばして読む。
- 4 進まなくなったら、他の本を読む。

何も着ていない二人の大男が、丸い「土俵」の中で押したり投げたり。よく見ると、髪かみの形かたちは、昔むかしの武士ぶしのようです。土俵どひようの中には、もう一人、着物ものを着て、おかしい帽子ぼうしをかぶった男おとこがいます。この男おとこは、忙しく動き回まわって、二人ふたりの男おとこに声こえをかけています。

相撲すもうをしている二人ふたりの大男おおおとこは「力士りきし」です。「相撲取りすもうと」「お相撲さんすもう」と呼よばれることもあります。力士りきしの間あいだを動き回まわっている男おとこは「行司ぎようし」です。最近さいきんでは外国人がいこくじん力士りきしも多おほくなつて、国際こくさい的てきになつた相撲すもう。勝ちか負けまがわかりやすい、そして、見れば見るほど面白おもしろい相撲すもう。

さあ、あなたを、相撲すもうの世界せかいにご招待しょうたいしましょう。



どひょう なか すもう と りきし
『土俵』の中で、相撲を取る力士たち

● 2007 年 1 月 場所千秋楽 朝青龍・琴欧州戦

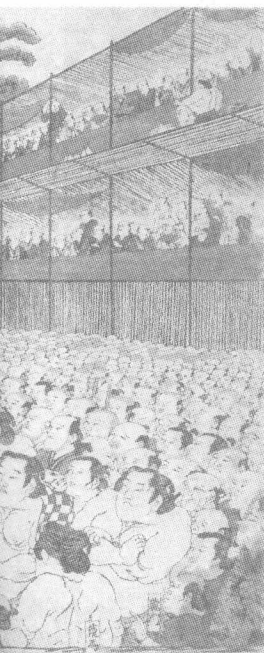
<写真提供>日本相撲協会



相撲の歴史

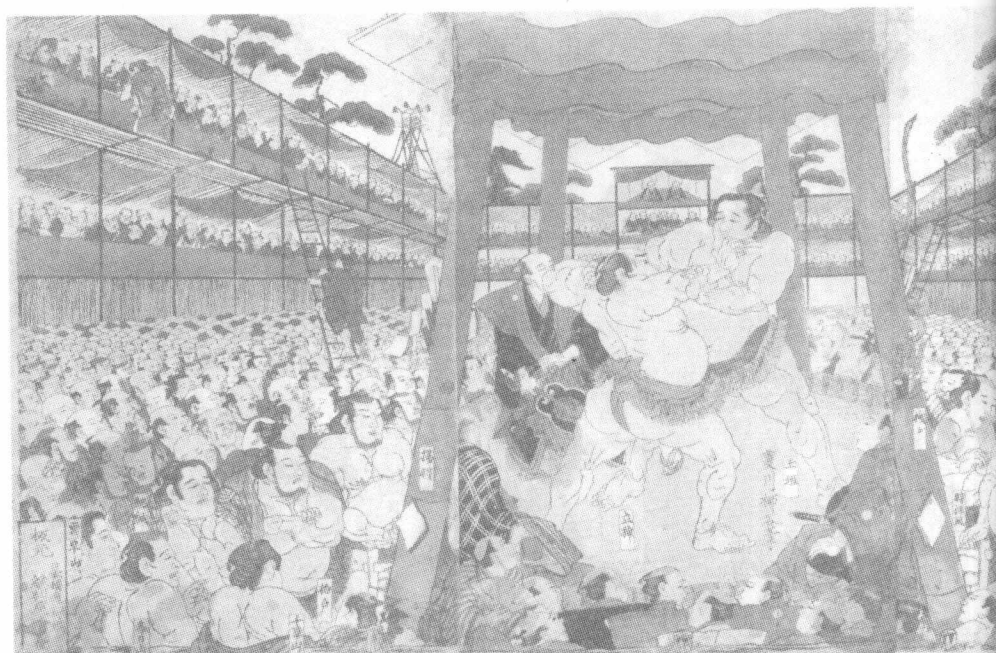
力士の動きや、髪かみの形かたち、行司ぎょうじの着物きものや帽子ぼうしを見ると、相撲すもうの歴史れきしが、とても古いことがわかります。千三百年せんさんびゃくねんぐらい前に書かかれた『古事記』『日本書紀』という本ほんに、相撲すもうのことが書かいてあります。

力士りきしが相撲すもうをすることを「相撲すもうを取る」と言いいます。昔むかしの人ひとたちは、神様かみさまの前まえで相撲すもうを取とりました。台風たいふうや地震じしんや病氣びょうきなどの悪いことわるが起きおきないように、神様かみさまにお願ねがいするたためでした。しかし、そのころの女性じょせいは、相撲すもうを見みることもできませんでした。女性じょせいは神様かみさまの前まえに出でるべきではないと考かんがえられていたからです。今いまでは、女性じょせいも相撲すもうを見みることはできますが、土俵どひょうに上あがることはできません。何年なんねんか前まえ、大阪府知事おおさかふちじは、土俵どひょうで力士りきしに優勝ゆうしょうカップを渡わたすことができきませんでした。府知事ふちじが女性じょせいだったからです。



江戸時代（一六〇三〜一八六八年）になると、相撲を仕事にする人が出てきました。そのころの日本は、三百ぐらいの小さい国が集まって、一つの国になっていました。その小さい国で一番地位が高い人を「大名」と言いました。大名は、力士たちに高い給料をあげて大切にしたいそうです。

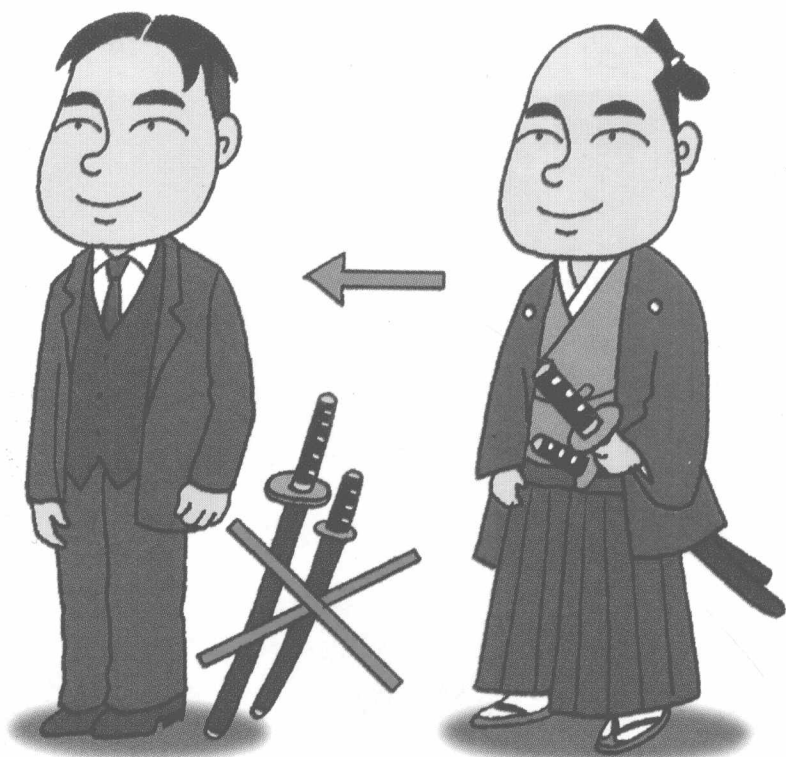
昔は、寺の庭などの広い場所で、相撲を取っていました。今のような、米の俵を丸く置く「土俵」ができたのは、江戸時代の中頃からです。

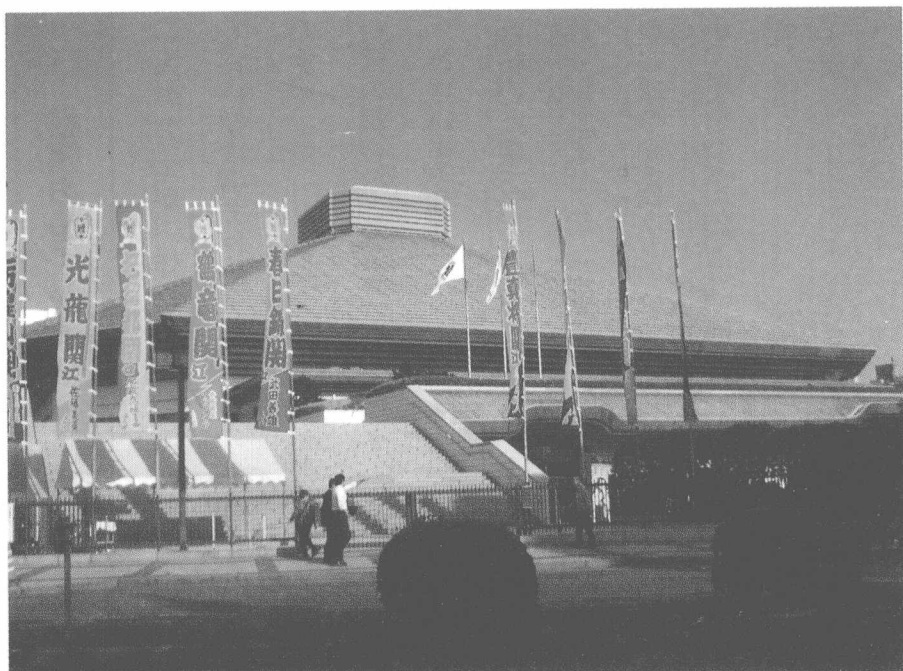


かんじんおすもうとりくみ ず
勸進大相撲取組の図 <資料提供>日本相撲協会

明治時代（一八六八～）

せんきゅうひやくじゅうにねん
一八七一年には、鬚
西洋のような社会に変わろうとし
ました。一八七一年には、鬚
や刀が禁止されました。政治だ
けではなく、服や髪形なども、
西洋の国のようにしたかったので
す。しかし、相撲は歴史が長く、
相撲が好きな人が多かったことか
ら、力士だけは鬚を切らなくても
いいことになりました。





りょうこくこくぎかん
両国国技館

<撮影>松田 緑

一九〇九年に東京の両国に「国技
 館」ができました。国技館ができて
 からは、雨の日も相撲ができますか
 ら、人々は喜んで相撲を見に行きま
 した。火事や戦争で、国技館は何回
 も焼けました。今、東京の両国にあ
 る国技館は、一九八五年に建てら
 れたものです。

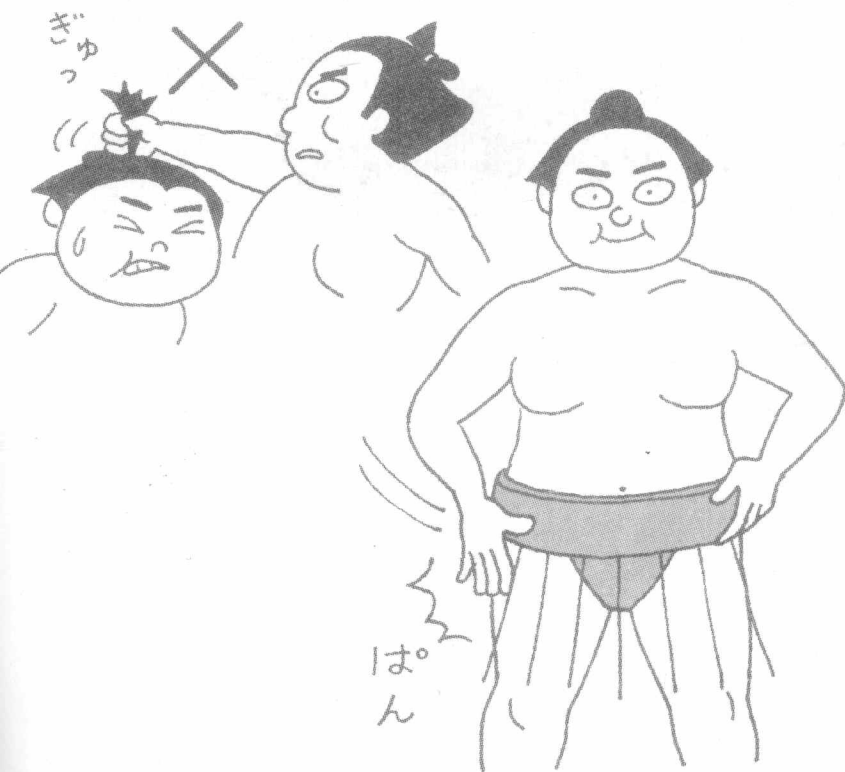


相撲のルール

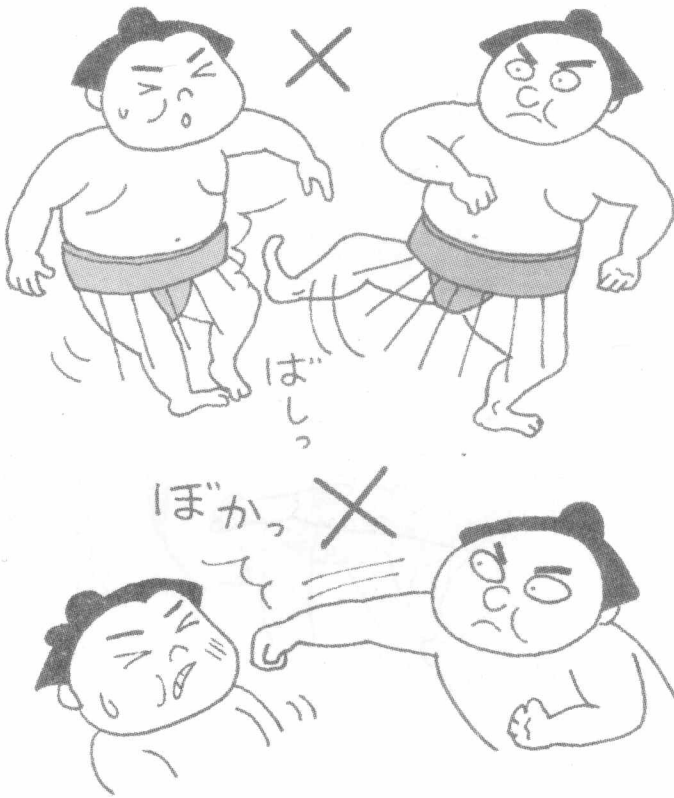
ふたり
二人の力士が、体につ
けていいのは「まわし」だ
けです。

すも
相撲の試合のことを「取
組」と言います。

とりくみ
取組のとき、力士は手に
は何も持ちません。相手の
まわしはつかんでもいいで
すが、髪をつかんでもはいけ
ません。

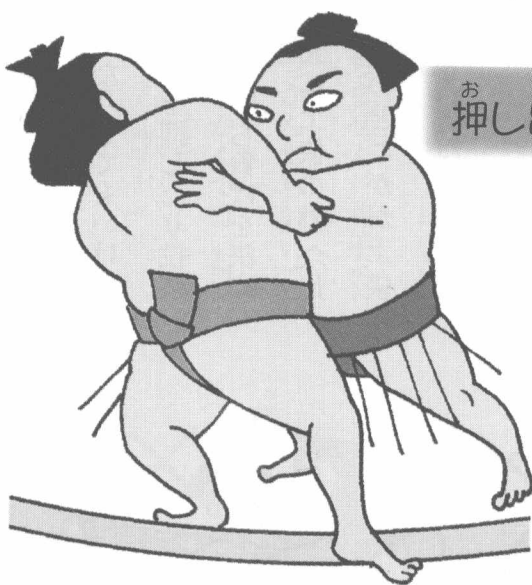


また、拳^{こぶし}で打^うったり、
 足^{あし}で蹴^けったりしてもいけません。
 相^あ手^てを推^おしたり投^なげたりして、勝^かち負^まけを決^きめます。
 先^{さき}に土俵^{どひょう}の外^{そと}へ出^でたり、体^{からだ}のどこか^{どこ}が土俵^{どひょう}についたりしたほう^まが負^まけです。

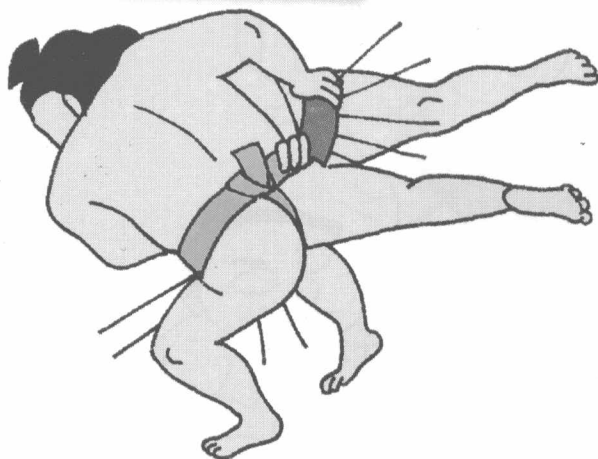


押し^おしたり投げ^なたりする技^{わざ}（やり方^{かた}）は、いろいろあります。勝ち^か負け^まを決^きめる技^{わざ}を「決^きまり手^て」と言^いいます。決^きまり手^ては八十二^{はちじゅうに}あつて、その全^{ぜん}部^ぶに名^な前^{まえ}がついています。「押^おし出^だし」
 「上^う手^{わて}投^なげ」「吊^つり出^だし」「引^ひき落^おとし」など、いろいろあります。勝ち^か負け^まを決^きめるのは、
 「行^{ぎやう}司^し」です。

お押し出し



うわてな
上手投げ



つだ
吊り出し



ひお
引き落とし





取組が始まる
とりぐみ はじ



「ひがあしい」朝青龍
あさしやうりゆう

……。にいいい」千代大
ちやたい

海……」
かい

力士を呼び出す「呼出」が、
りきし よびだし

東と西の力士を呼びます。
ひがしにし りきし

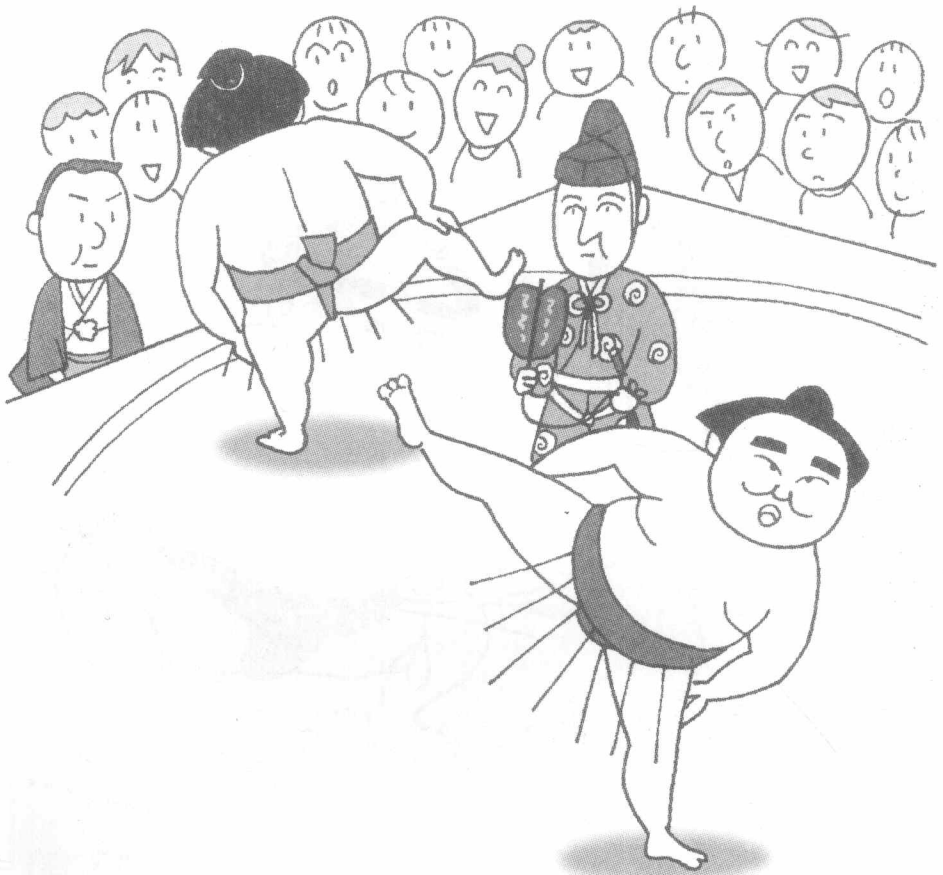
土俵の下で待っていた力士
どひよう した ま りきし

が立ち上がって、土俵に上
た あ どりよう あ

がります。

土俵どひょうの中なかにいる行司ぎょうじが、客きやくに力士りきしの名前なまえを紹介しょうかいします。

力士りきしは、相撲すもうを取る前まえに、いろいろなことことをします。土俵どひょうの上うへで足あしを高くあ上げて、ドンドンと土俵どひょうを踏ふみます。これを「四股しこを踏ふむ」と言いいます。これは、悪い物わるなものを土俵どひょうから出だすためです。



それから、水で口の中をきれいにし
ます。そして、土俵に「塩」を撒きます。
塩は、汚い物をきれいにするからで
す。相撲は、神様の前でするもので
から、体も土俵もきれいにしなければ
なりません。

